



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月26日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小野 義昭  
 問合せ先責任者（役職名） 管理本部経理部長（氏名） 平澤 秀明（TEL） 03(5289)3716  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年11月27日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

### (1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	37,233	6.8	1,904	54.4	2,181	52.3	1,475	46.3
27年3月期第2四半期	34,871	7.6	1,233	108.9	1,432	71.6	1,009	101.1

（注）包括利益 28年3月期第2四半期 768百万円（-%） 27年3月期第2四半期 △47百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.07	18.01
27年3月期第2四半期	12.41	12.38

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	94,709	72,707	75.8
27年3月期	93,889	72,250	76.0

（参考）自己資本 28年3月期第2四半期 71,813百万円 27年3月期 71,355百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
28年3月期	—	4.50			
28年3月期(予想)			—	4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	73,000	1.8	3,400	52.4	3,800	32.6	2,500	40.6	30.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	82,623,376株	27年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	884,352株	27年3月期	1,041,774株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	81,681,061株	27年3月期2Q	81,285,957株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成27年11月9日(月)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気減速、欧州でのギリシャ問題などによる不安定感がある一方で、米国の金融政策正常化の動きや個人消費と住宅投資の加速の動きが見られ、全体的には緩やかな景気回復が続きました。日本経済は、円安進行による輸入コストの上昇などがありましたものの、企業収益の改善傾向が継続する中で個人消費も底堅く、緩やかな景気回復基調が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、自動車関連分野、半導体及びOA機器関連分野の需要が堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、販売面では、国内外での成長製品拡販に注力した営業活動を継続展開し、生産面では、能力増強や品質と生産効率向上などを目的とした設備投資を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は372億33百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は19億4百万円（前年同期比54.4%増）、経常利益は21億81百万円（前年同期比52.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億75百万円（前年同期比46.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に好調な出荷が続くなど、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸ばしました。

入力デバイスは、自動車の電装化進展を背景に自動車用キースイッチ及びタッチスイッチの出荷が順調に推移しました。また、薄型ノートパソコン用タッチパッドは、新機種の出荷が好調でした。ディスプレイ関連デバイスは、視野角制御フィルム（V C - F i l m）の自動車用途が伸び、液晶接続用コネクタの出荷は堅調に推移しました。コンポーネント関連製品は、半導体検査用コネクタの出荷が伸長しました。

この結果、当事業の売上高は100億77百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益は7億90百万円（前年同期比70.9%増）となりました。

## ②精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器、キャリアテープ関連製品の出荷が堅調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸ばしました。

OA機器用部品は、主要ユーザー向け製品の出荷が徐々に回復し、売上げは前年並みとなりました。シリコンゴム成形品は、医療関連製品や建材関連製品など主力製品が安定した出荷で推移し、売上げは前年を上回りました。半導体関連容器は、半導体業界の好調な需要を背景に300mmウェハー用製品が伸長し、売上げは前年を上回りました。キャリアテープ関連製品は、スマートフォン向けや自動車電装分野向けの好調な需要が継続し、その中でもセラミックコンデンサーなどの微細部品用製品の出荷が伸びて、売上げは前年を上回りました。

この結果、当事業の売上高は151億15百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は14億32百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

## ③住環境・生活資材事業

当事業では、市場の需要低迷と価格競争の激化により、全体として売上げは前年に比べ僅かに減少しました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向けの出荷が横ばいでしたが、外食産業向けの出荷が堅調に推移しました。機能性コンパウンドは、自動車用が安定的に推移したものの、太陽光発電向け電線用が低迷しました。塩ビパイプ関連製品は、住宅着工戸数が回復基調となり、売上げは前年並みとなりました。外装材関連製品は、価格競争の激化などにより、売上げは伸び悩みました。

この結果、当事業の売上高は89億67百万円（前年同期比2.5%減）、営業損失は3億30百万円（前年同期は3億74百万円の損失）となりました。

## ④その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件の受注が増え、売上げが大きく伸びて、利益改善が進みました。

この結果、その他の売上高は30億72百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は96百万円（前年同期は44百万円の損失）となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月22日に公表いたしました平成28年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,333	38,721
受取手形及び売掛金	19,050	18,188
商品及び製品	5,801	5,749
仕掛品	1,349	1,417
原材料及び貯蔵品	2,297	2,259
未収入金	1,293	984
繰延税金資産	1,054	1,067
その他	1,906	2,745
貸倒引当金	△423	△443
流動資産合計	69,663	70,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,863	6,491
機械装置及び運搬具（純額）	5,575	5,521
土地	6,544	6,519
建設仮勘定	691	1,197
その他（純額）	1,019	1,086
有形固定資産合計	20,693	20,817
無形固定資産		
ソフトウェア	383	335
その他	146	148
無形固定資産合計	530	484
投資その他の資産		
投資有価証券	1,551	1,324
繰延税金資産	322	324
その他	1,127	1,068
投資その他の資産合計	3,001	2,717
固定資産合計	24,225	24,019
資産合計	93,889	94,709

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,338	12,597
短期借入金	0	0
未払金	2,493	2,812
未払法人税等	229	656
未払費用	1,768	1,915
賞与引当金	1,094	1,076
役員賞与引当金	42	24
その他	896	1,167
流動負債合計	19,864	20,251
固定負債		
長期借入金	1	0
退職給付に係る負債	1,331	1,340
その他	441	409
固定負債合計	1,774	1,750
負債合計	21,638	22,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	46,321	47,391
自己株式	△731	△621
株主資本合計	67,694	68,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	441	341
為替換算調整勘定	3,200	2,584
退職給付に係る調整累計額	18	12
その他の包括利益累計額合計	3,660	2,938
新株予約権	58	43
非支配株主持分	836	850
純資産合計	72,250	72,707
負債純資産合計	93,889	94,709

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	34,871	37,233
売上原価	25,640	27,005
売上総利益	9,231	10,227
販売費及び一般管理費	7,997	8,322
営業利益	1,233	1,904
営業外収益		
受取利息	137	127
為替差益	130	223
その他	29	95
営業外収益合計	297	446
営業外費用		
固定資産除却損	82	156
その他	16	13
営業外費用合計	98	170
経常利益	1,432	2,181
特別損失		
減損損失	—	53
特別損失合計	—	53
税金等調整前四半期純利益	1,432	2,128
法人税、住民税及び事業税	445	676
法人税等調整額	0	△21
法人税等合計	446	654
四半期純利益	985	1,473
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,009	1,475

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	985	1,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145	△99
為替換算調整勘定	△1,165	△599
退職給付に係る調整額	△13	△5
その他の包括利益合計	△1,033	△705
四半期包括利益	△47	768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24	754
非支配株主に係る四半期包括利益	△71	13

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,432	2,128
減価償却費	1,524	1,577
減損損失	—	53
受取利息及び受取配当金	△149	△140
為替差損益(△は益)	△14	△137
固定資産除却損	82	156
売上債権の増減額(△は増加)	△189	241
たな卸資産の増減額(△は増加)	△576	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	79	△1,073
未払又は未収消費税等の増減額	92	80
その他	272	306
小計	2,553	3,192
利息及び配当金の受取額	158	164
利息の支払額	△15	△13
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△300	△201
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,394	3,141
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	718	89
有形固定資産の取得による支出	△1,773	△1,399
非連結子会社への出資による支出	△32	—
その他	△19	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,106	△1,264
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△365	△366
その他	24	72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341	△293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△609	△271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	337	1,312
現金及び現金同等物の期首残高	30,786	34,823
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	166
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,124	36,301

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,660	14,415	9,196	32,273	2,598	34,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,660	14,415	9,196	32,273	2,598	34,871
セグメント利益又は損失(△)	462	1,165	△374	1,253	△44	1,208

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,253
「その他」の区分の損失	△44
棚卸資産の調整額	8
その他の調整額	16
四半期連結損益計算書の営業利益	1,233

当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,077	15,115	8,967	34,160	3,072	37,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,077	15,115	8,967	34,160	3,072	37,233
セグメント利益又は損失(△)	790	1,432	△330	1,892	96	1,988

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,892
「その他」の区分の利益	96
棚卸資産の調整額	△91
その他の調整額	7
四半期連結損益計算書の営業利益	1,904